

5 高齢期の住まいについて

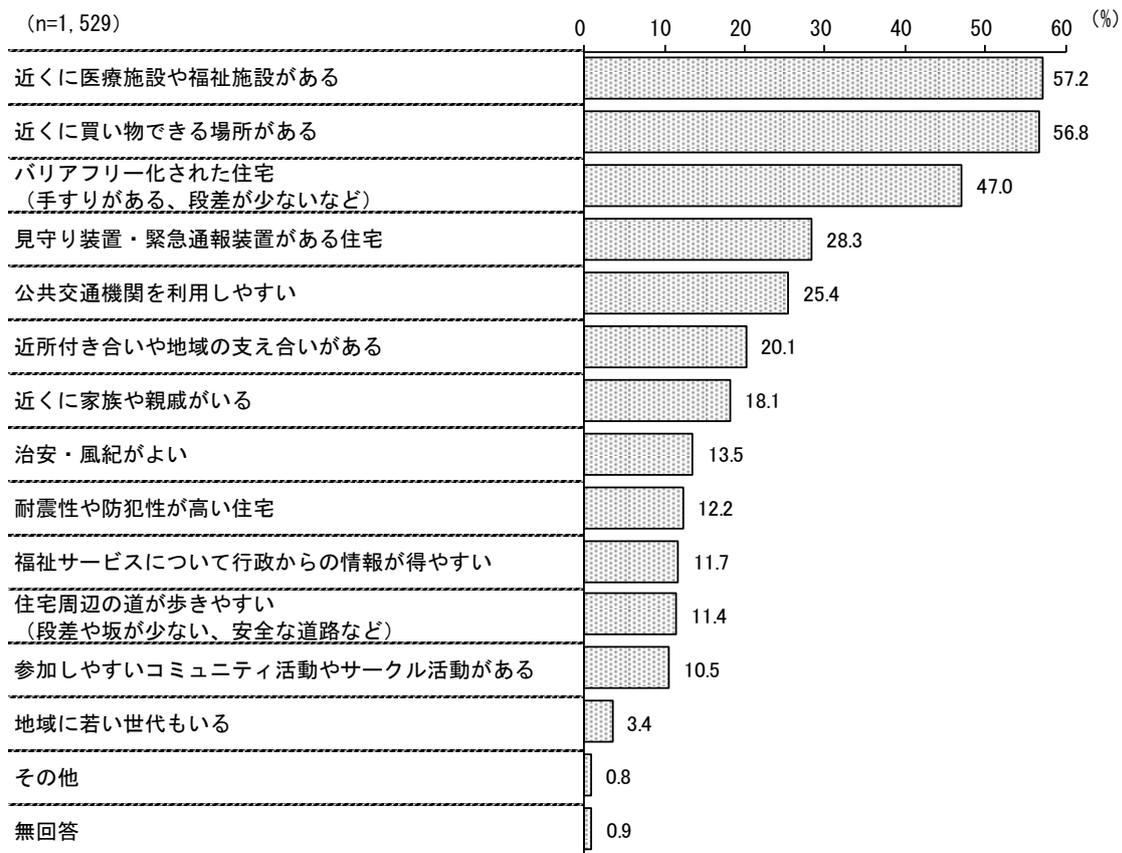
(1) 高齢期の住まいで重要なこと

◇「近くに医療施設や福祉施設がある」が約6割

県では、千葉県高齢者居住安定確保計画に基づき、高齢者に配慮された住宅の確保や高齢者の在宅生活を支えるサービスの充実に向け各種施策に取り組んでおり、今後の取組推進の参考とするため、県民の皆さまの意識をお聞きいたします。

問29 高齢期における住まいで重要なことは何だと思えますか。（〇は3つまで）

<図表5-1> 高齢期の住まいで重要なこと



高齢期の住まいで重要なことを聞いたところ、「近くに医療施設や福祉施設がある」(57.2%)が約6割で最も高く、以下、「近くに買い物できる場所がある」(56.8%)、「バリアフリー化された住宅(手すりがある、段差が少ないなど)」(47.0%)、「見守り装置・緊急通報装置がある住宅」(28.3%)が続く。(図表5-1)

【地域別】

地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表5-2)

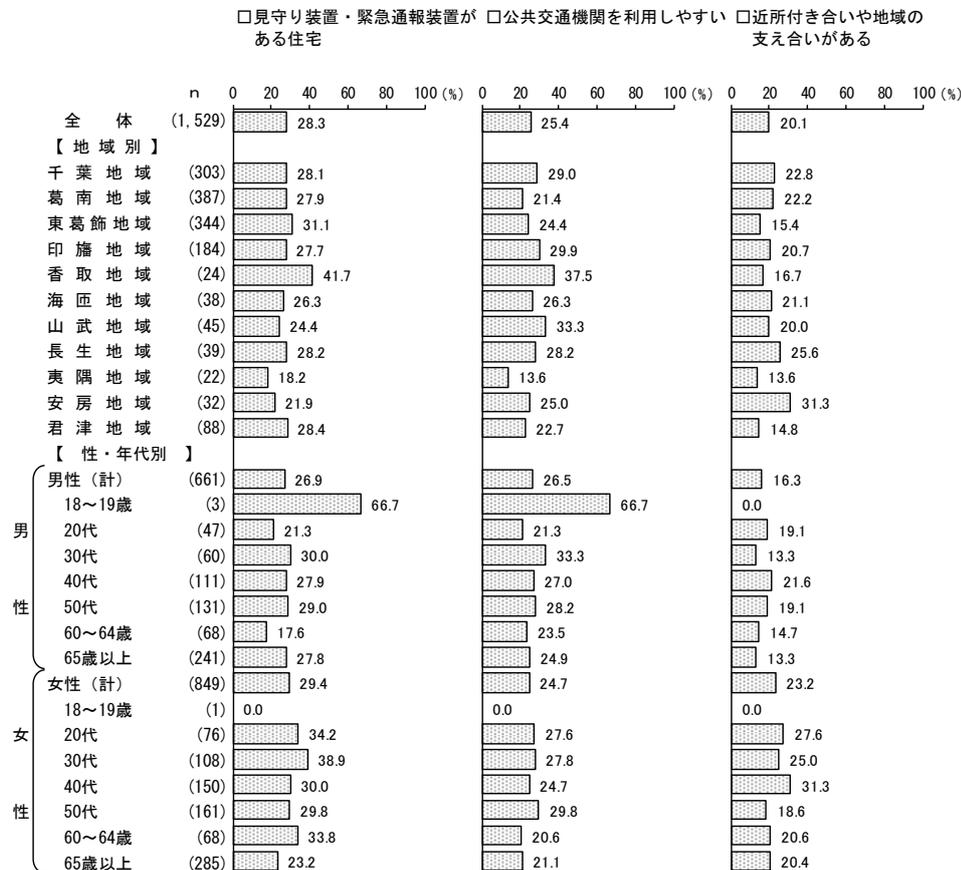
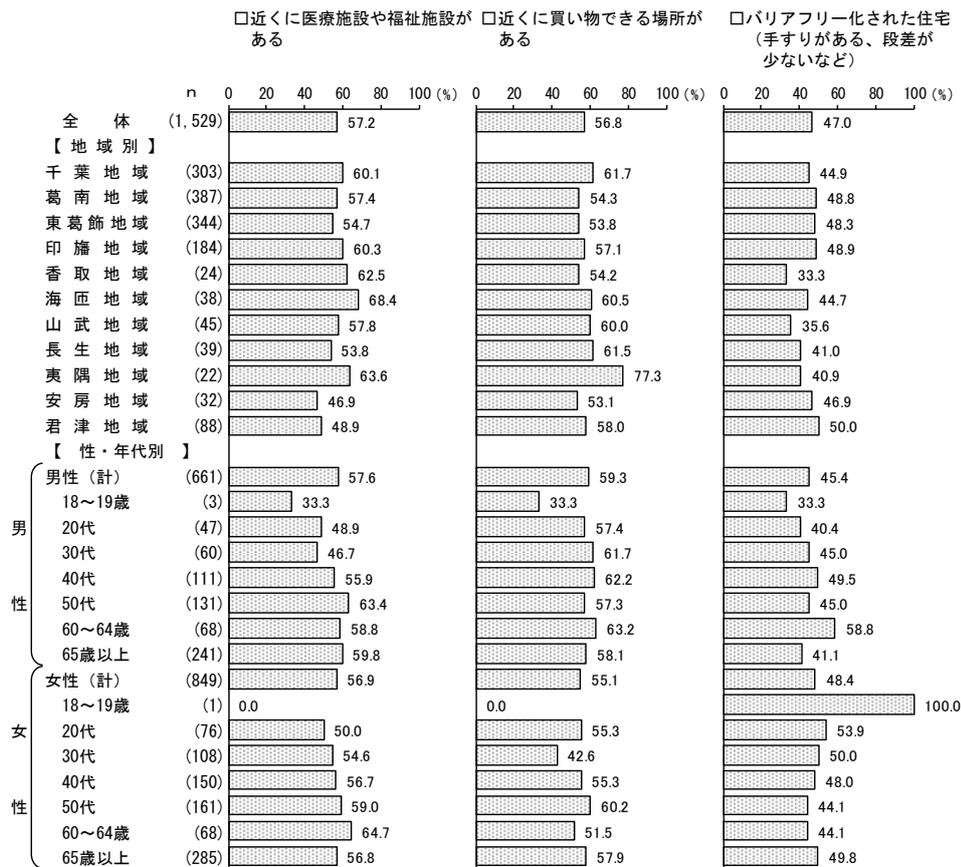
【性・年代別】

性・年代別にみると、「バリアフリー化された住宅(手すりがある、段差が少ないなど)」は男性の60~64歳(58.8%)が約6割で高くなっている。

「見守り装置・緊急通報装置がある住宅」は女性の30代(38.9%)が4割で高くなっている。

(図表5-2)

＜図表5-2＞高齢期の住まいで重要なこと／地域別、性・年代別

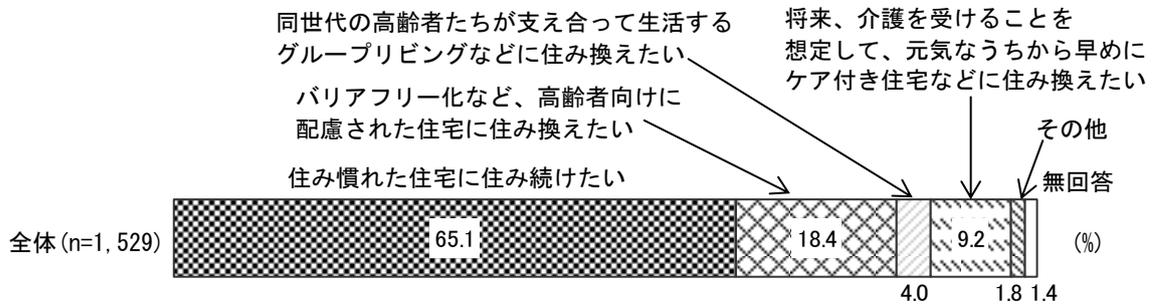


（2）高齢期に住みたい住宅

◇「住み慣れた住宅に住み続けたい」が6割台半ば

問30 あなたは、高齢期を迎えたとき、どのような住宅に住みたいと思いますか。（○は1つ）

＜図表5-3＞高齢期に住みたい住宅



高齢期に住みたい住宅について聞いたところ、「住み慣れた住宅に住み続けたい」（65.1%）が6割台半ばで最も高く、以下、「バリアフリー化など、高齢者向けに配慮された住宅に住み換えたい」（18.4%）、「将来、介護を受けることを想定して、元気なうちから早めにケア付き住宅などに住み換えたい」（9.2%）が続く。（図表5-3）

【地域別】

地域別にみると、「住み慣れた住宅に住み続けたい」は“君津地域”（75.0%）が7割台半ばで高くなっている。

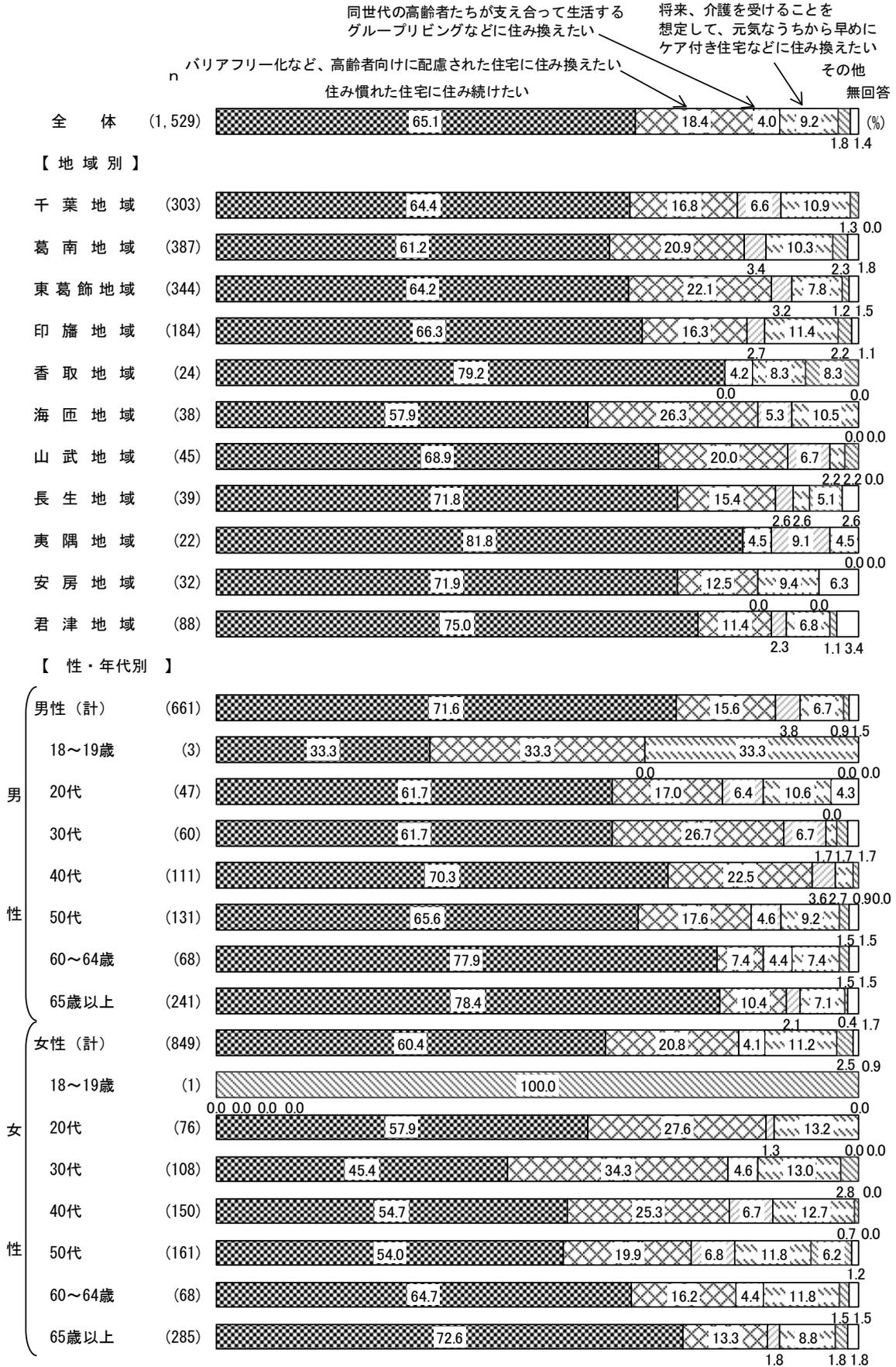
「バリアフリー化など、高齢者向けに配慮された住宅に住み換えたい」は“東葛飾地域”（22.1%）が2割を超えて高くなっている。（図表5-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み慣れた住宅に住み続けたい」は男性の65歳以上（78.4%）と男性の60～64歳（77.9%）が約8割、女性の65歳以上（72.6%）が7割を超えて高くなっている。

「バリアフリー化など、高齢者向けに配慮された住宅に住み換えたい」は女性の30代（34.3%）が3割台半ば、女性の20代（27.6%）が約3割、女性の40代（25.3%）が2割台半ばで高くなっている。（図表5-4）

＜図表5－4＞高齢期に住みたい住宅／地域別、性・年代別

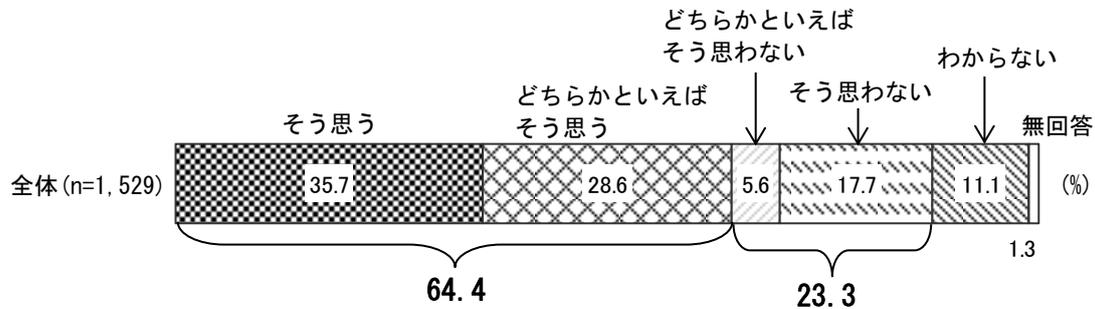


（3）高齢期に備えた住宅の建て替え、買い替え、リフォームの必要性

◇『そう思う（計）』が6割台半ば

問31 高齢期に備え、あなたがお住まいの住宅の建て替え、買い替え、リフォームなどが必要だと思いますか。予定の有無にかかわらずお考えください。（○は1つ）

＜図表5-5＞高齢期に備えた住宅の建て替え、買い替え、リフォームの必要性



高齢期に備えた住宅の建て替え、買い替え、リフォームの必要性について、「そう思う」（35.7%）と「どちらかといえばそう思う」（28.6%）を合わせた『そう思う（計）』（64.4%）が6割台半ばとなっている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」（5.6%）と「そう思わない」（17.7%）を合わせた『そう思わない（計）』（23.3%）が2割を超えている。（図表5-5）

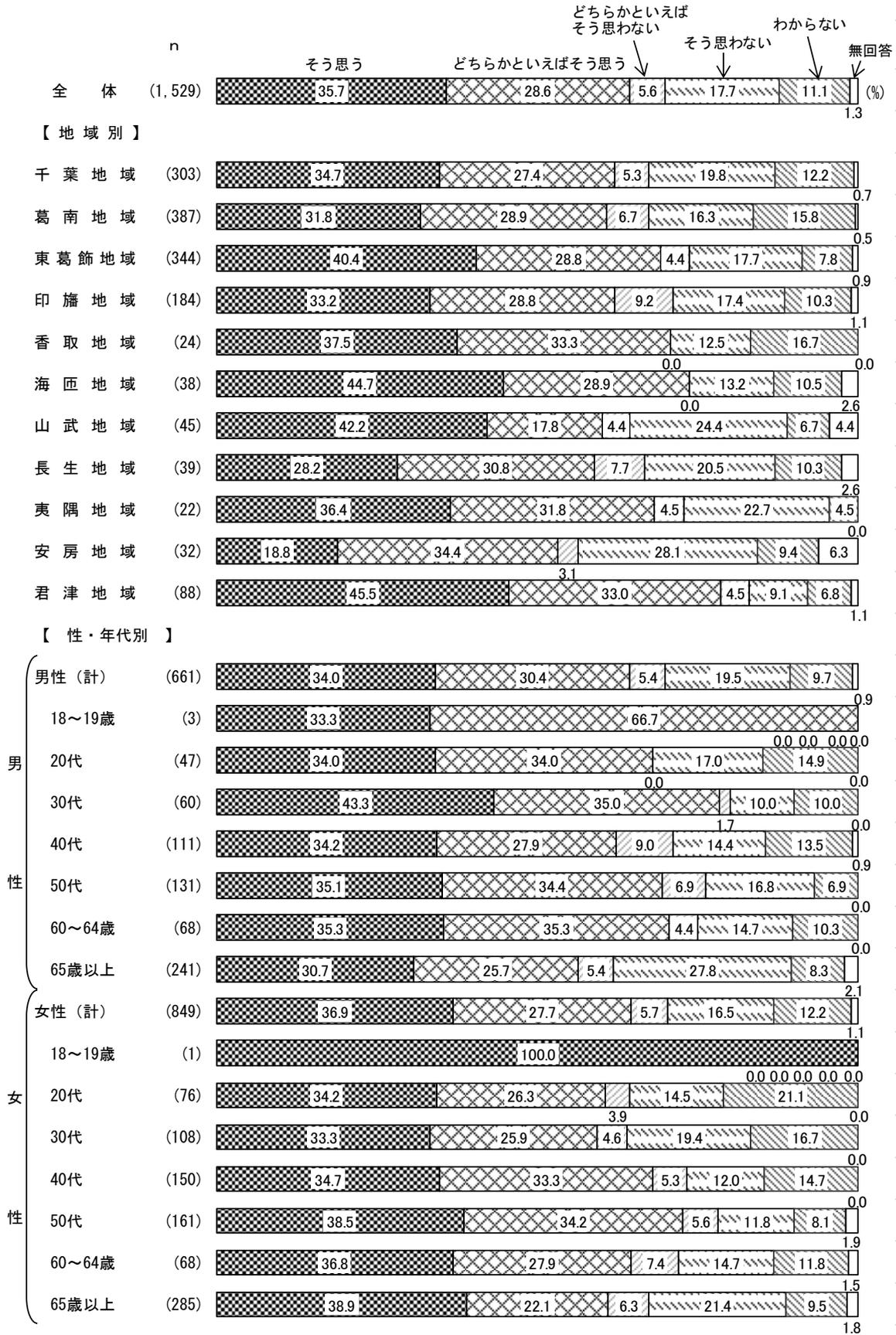
【地域別】

地域別にみると、『そう思う（計）』は“君津地域”（78.4%）が約8割、“東葛飾地域”（69.2%）が約7割で高くなっている。（図表5-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う（計）』は男性の30代（78.3%）が約8割、女性の50代（72.7%）が7割を超えて高くなっている。（図表5-6）

<図表5-6>高齢期に備えた住宅の建て替え、買い替え、リフォームの必要性／地域別、性・年代別

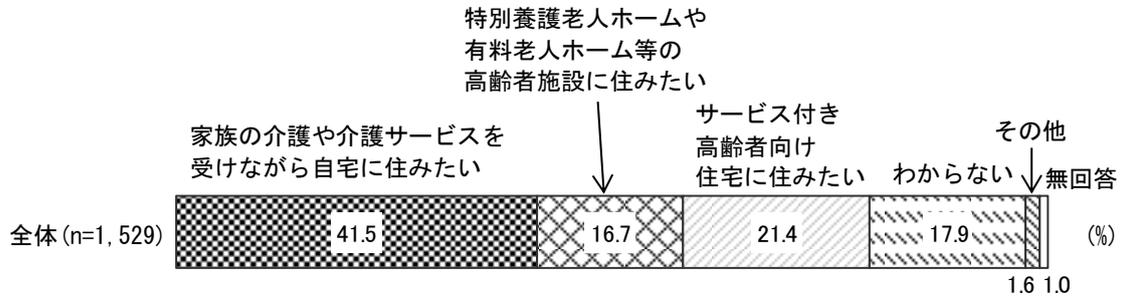


（４）介護が必要になった時に望む住まい方

◇「家族の介護や介護サービスを受けながら自宅に住みたい」が4割を超える

問32 あなたは、介護が必要になった時、どのような住まい方を望みますか。（○は1つ）

<図表5-7>介護が必要になった時に望む住まい方



介護が必要になった時に望む住まい方を聞いたところ、「家族の介護や介護サービスを受けながら自宅に住みたい」（41.5%）が4割を超えて、以下、「サービス付き高齢者向け住宅に住みたい」（21.4%）、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に住みたい」（16.7%）が続く。

（図表5-7）

【地域別】

地域別にみると、「家族の介護や介護サービスを受けながら自宅に住みたい」は“君津地域”（53.4%）が5割を超えて高くなっている。

「サービス付き高齢者向け住宅に住みたい」は“印旛地域”（27.7%）が約3割で高くなっている。

「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に住みたい」は“香取地域”（33.3%）が3割を超えて高くなっている。（図表5-8）

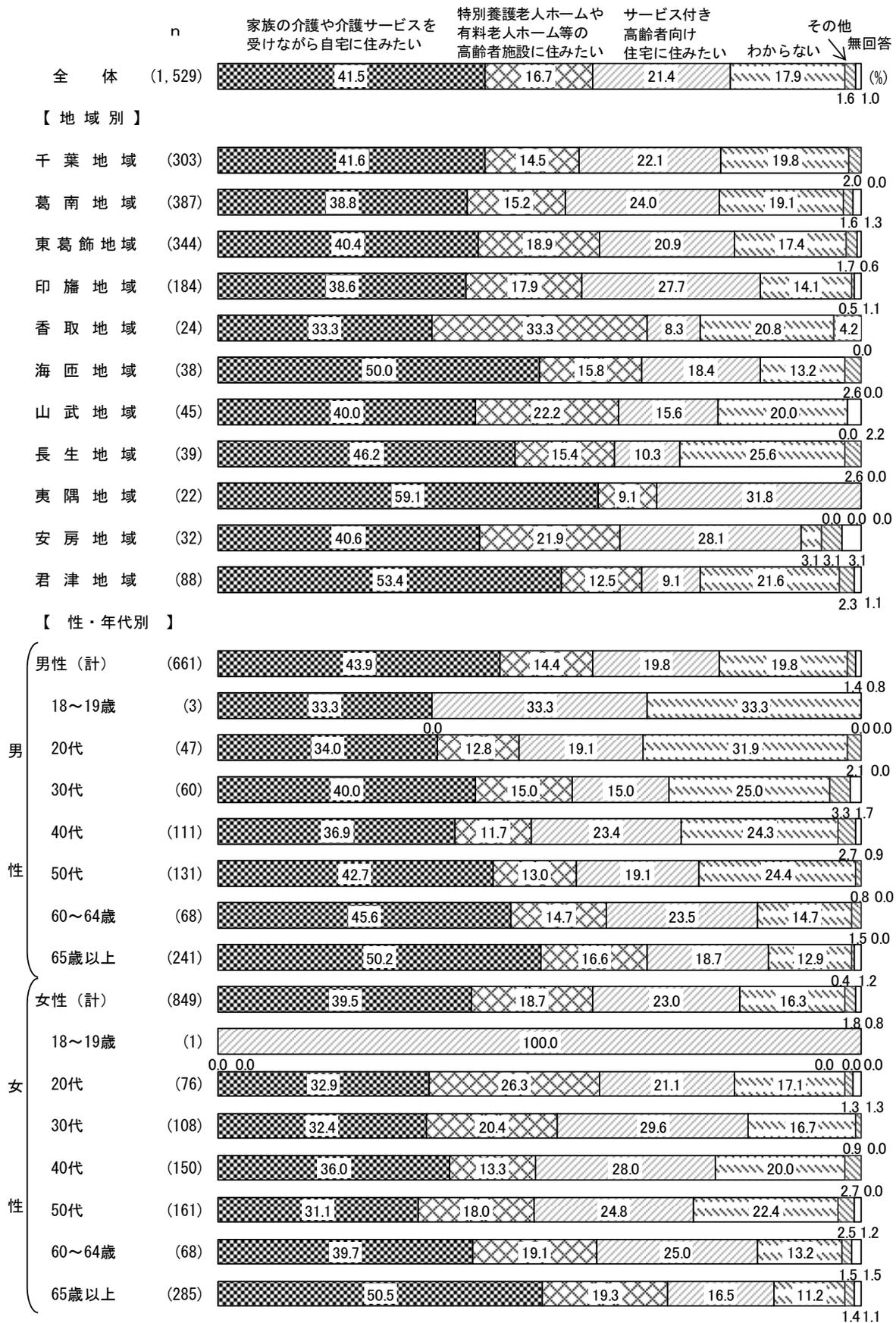
【性・年代別】

性・年代別にみると、「家族の介護や介護サービスを受けながら自宅に住みたい」は女性の65歳以上（50.5%）と男性の65歳以上（50.2%）が5割で高くなっている。

「サービス付き高齢者向け住宅に住みたい」は女性の30代（29.6%）と女性の40代（28.0%）が約3割で高くなっている。

「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に住みたい」は女性の20代（26.3%）が2割台半ばで高くなっている。（図表5-8）

＜図表5－8＞介護が必要になった時に望む住まい方／地域別、性・年代別



このほかに、「高齢期の住まいについて」やここまでの質問（問29～問32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、165人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

■「高齢期の住まいについて」の自由回答（抜粋）

- 若者層は自分が高齢になった時まで考えていない人が多いと思います。県が高齢になった時の支援等発信して頂けるともっと考えるようになるのかなと思います。
(女性、20代、東葛飾地域)
- 施設や高齢者向け住宅は家族も本人も安心でき、理想であるが、月額などが高すぎるイメージ。金銭的負担がもっと少なくなれば利用しやすい。
(女性、30代、葛南地域)
- 見守り装置・緊急通報装置の自宅での設置→千葉県でもこういったサービスを充実させていけばいいと思います。
(男性、40代、東葛飾地域)
- 建て替えやリフォームが簡単に高齢者自身で行える環境体制作り、アドバイザーや支援窓口の創設。
(男性、60～64歳、君津地域)
- 住み慣れた我家に住みたいと思いますが、コロナ禍の現状将来から訪問ヘルパーさんの不足が考えられるので、なるべく安価で入れる高齢者施設を増やして欲しいと考えます。
(男性、65歳以上、夷隅地域)
- 特養ホームや、低額の有料老人ホームは、希望しても現状では入所が極めて厳しいと聞きます。もっと容易に入所出来るよう、増やしていただきたいと考えます。
(男性、65歳以上、東葛飾地域)
- 核家族世帯が増えて、孤独死などを迎える可能性が高い。配偶者がいても先立たれた場合、同様に確率が高くなる。今のうちから何らかの対応策を検討すべき。(男性、30代、葛南地域)
- 住まい方は生活の質、人生の質に直結するので、それを含めた計画、策定を希望します。
(男性、40代、葛南地域)
- 高齢化が進むなかで住宅設備の改善は必ず必要になると思う。防災の面や詐欺などの犯罪に会わないような対策も必要。
(女性、40代、東葛飾地域)
- 自分で自分の事を出来るうちは自宅に住むが、出来なくなったらお世話になりたい。その時に何処に連絡したら良いか？必要な金額がわからない。
(男性、50代、千葉地域)